



護者の方にも参加していただき、教職員と地域・保護者との交流の場を設定し、それぞれの取組について理解を深め、課題を共有し合うことができた。隣接する幼稚園も休園となっているが、中学校区としての保・幼・小・中の連携による学習活動の活性化、相互の育ち合いを大切にしている。

本校では、①生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験や多くの方々との出会いの場の設定、②図書室や学年園を中心とした学習環境整備を進めている。新興住宅地が多くを占める本校区において、これらの学習を通して児童に地域への理解を深め、愛着や誇りを持たせることを主眼としている。そのために、中・長期的な視点で、より多くの学校協力者やボランティアによる学校支援の輪を広げようと努めている。本校の特色の一つである「菜の花プロジェクト」は、これを核として世界遺産学習、環境教育へと体系的につなぎ、魅力ある総合的な学習の時間を構築し、特色ある学校づくりをめざしている。今年も、とれた菜種油を、お世話になった地域の方々やボランティアの方々とともに、5年生が東大寺と春日大社に灯明油として届けた。子どもたちにとって大変貴重な機会を与えていただくことができた。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「菜の花プロジェクト」を核にして、世界遺産学習、環境教育を総合的な学習の時間に位置づけて行っている。

世界遺産学習は、低学年では「校区たんけん」で、校区にある奈良豆比古神社とその伝統文化を守り伝えている人々との出会い、地域の人々の願いや思いを知る。中学年では奈良市や奈良県の伝統文化を学習し、高学年では日本から世界の文化へと拡げている。

環境教育は、低学年では学年園や学校周辺の自然観察。中・高学年で「菜の花プロジェクト」からの地球温暖化やエネルギー問題について学習している。

それぞれの指導内容については、支援団体や地域の方と話し合い、改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年の年間指導計画を立てると共に、それぞれの取組において地域人材や団体と協働して取り組むことにより、組織的かつ継続的に取り組める体制を構築している。

また、活動内容は随時学校ホームページに掲載し、広く広報活動を行うことで、保護者や地域に理解を深めると共に、協力していただいている方々のモチベーションを高める効果もあるように感じている。

行事ごとの振り返り、学期や年度ごとの反省を出し合うことで、次年度の体制を工夫し、継続した取組を創造している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動に関しては、児童、保護者、教員へのアンケートと学校評議員や学校運営委員には直接意見をいただいている。

そのことから明らかになってきた現在の課題は、①支援団体や地域人材の高齢化と、②保護者の活動への参加をどう拡げていくか、の2点である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

活動内容および成果は、学校ホームページで発信している。ホームページを観てくださった、保護者や地域の皆さん、そして活動を手伝っていただいたボランティアの皆さんから、直接、広報活動に対する感想をいただいている。このことで、本校の「菜の花プロジェクト」の取組は、広く知られるようになってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

「菜の花プロジェクト」では、NPO 団体の「宙塾」、ナルク、奈良阪町婦人会、北っ子ドリームネット等と連携して取り組んでいる。

また、「菜の花プロジェクト」で採油した菜種油は、世界遺産である東大寺と春日大社に献油している。その過程において、地域の方にそれぞれへの連絡調整等で協力していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

今のところ、特に交流やネットワーク形成は行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

児童が地域に目を向け、地域の「ひと こと もの」に対しての知識を増やし、つながりを深めることができた。その結果、地域の方々も本校児童一人一人とつながることで、本校に対してより一層の協力をしてくださるようになっている。また、活動を進めることで、教員と保護者、地域の方々とのコミュニケーションが多くなり、他の教育活動においても協力体制を強固にすることができている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も「菜の花プロジェクト」を核として、世界遺産学習や環境教育を行っていく。協力していただいている NPO 団体や地域団体、地域人材等との連携は、年々スムーズに行えるようになっている。

「菜の花プロジェクト」は当初より活動の内容が広がり、多岐にわたってきているため、「菜の花祭り」等、重複する内容について、平成 30 年度は一本化するように見直しをしている。

地域人材や団体の構成員も高齢化が進んでいるので、これからも持続した活動をするために、広報活動をより一層活発にして、保護者や地域の方々に理解をしていただき、ボランティアの募集につなげていきたいと考えている。